

# 第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画 進捗報告書

## 環境局循環社会推進課

1



### 第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画 進捗状況評価

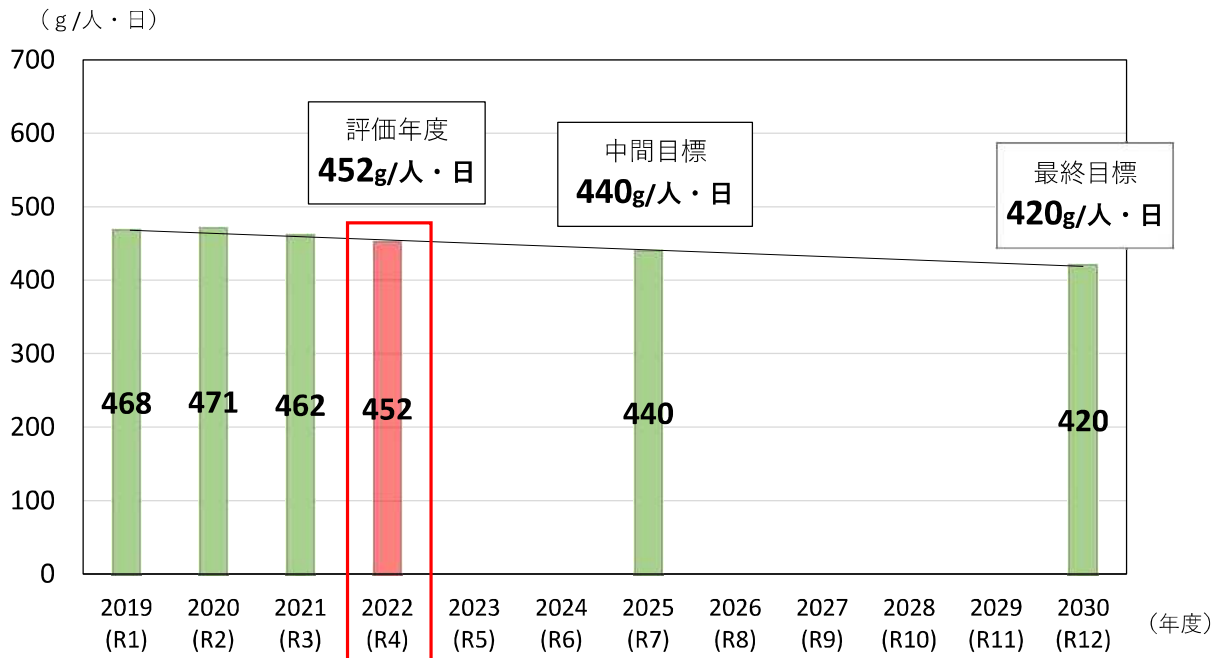
| 計画目標の項目                            | 2019 (令和元)年度<br>(基準年度) | 2020 (令和2)年度     | 2021 (令和3)年度 | 2022 (令和4)年度<br>(評価年度) | 2025 (令和7)年度<br>(中間目標年度) | 2030 (令和12)年度<br>(最終目標年度) |
|------------------------------------|------------------------|------------------|--------------|------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 市民1人一日あたりの家庭ごみ量                    | 468g                   | 471g             | 462g         | 452g                   | 440g以下                   | 420g以下                    |
| 事業系ごみ量<br>(市の施設で処理した量)             | 180,582トン              | 166,675トン        | 161,908トン    | 162,292トン              | 167,192トン以下              | 157,682トン以下               |
| リサイクル率 (一般廃棄物)                     | 28.0%                  | 27.3%            | 27.9%        | 26.6%                  | 30%以上                    | 32%以上                     |
| うち、家庭系リサイクル率                       | 33.1%                  | 29.9%            | 30.7%        | 29.1%                  | 34%以上                    | 36%以上                     |
| 一般廃棄物処理に伴い発生するCO <sub>2</sub> 排出量※ | 88千トン                  | 98千トン            | 94千トン        | 86千トン<br>(速報値)         | 60千トン以下                  | 60千トン以下                   |
| 産業廃棄物の最終処分量                        | 203千トン<br>(H30実績)      | 266千トン<br>(R1実績) |              | 253千トン<br>(R2実績)       | 185千トン以下                 | 170千トン以下                  |

※ CO<sub>2</sub>排出量は、一般廃棄物の処理で発生したCO<sub>2</sub>量から、焼却工場で発電し、売電することで削減した電力をCO<sub>2</sub>量を差し引いて算出

2



## 計画目標の項目：市民1人一日あたりの家庭ごみ量

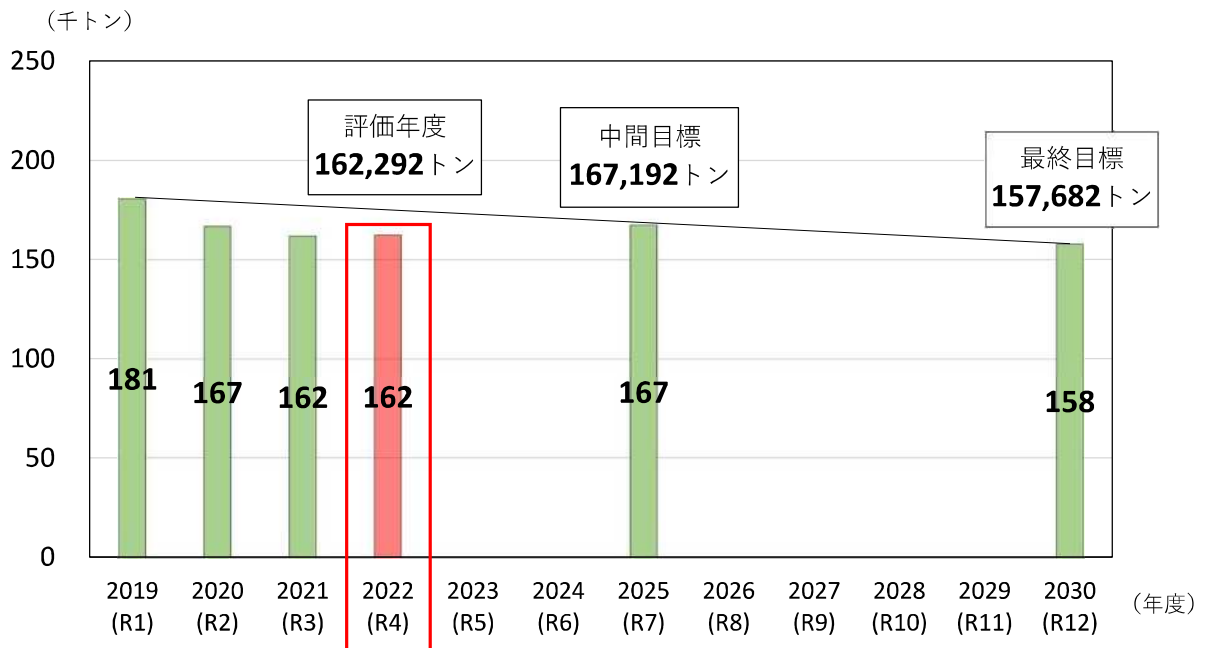


- ・昨年度同様、順当に減少
- ・令和5年10月開始のプラスチック資源一括回収等により、更なる減少を図る

3



## 計画目標の項目：事業系ごみ量（市の施設で処理した量）

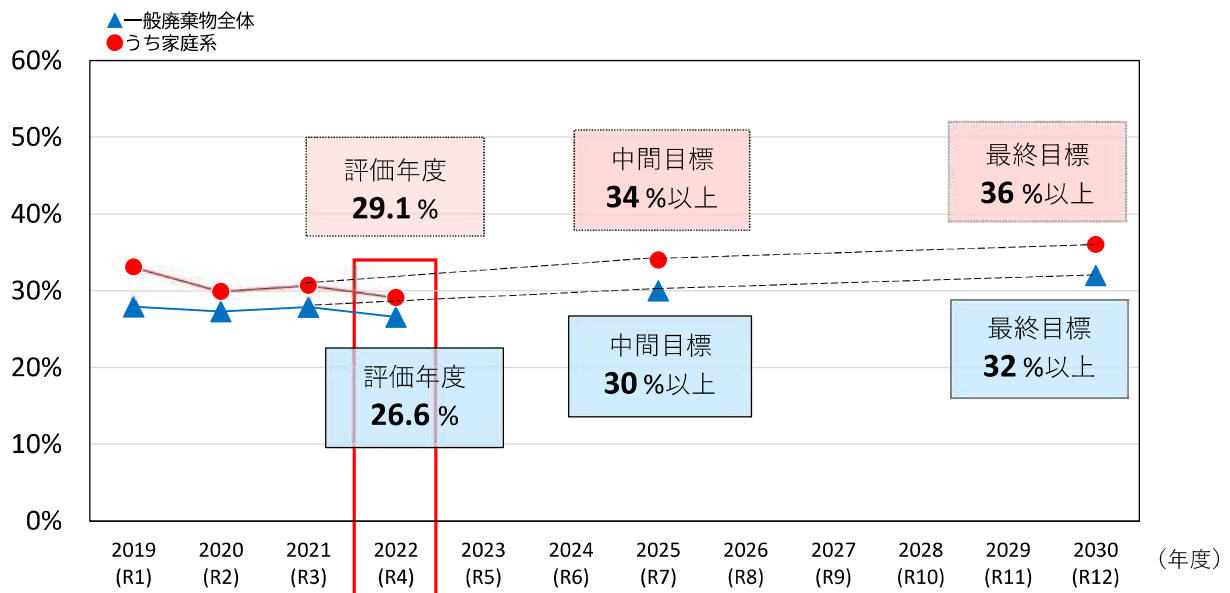


- ・近年、コロナ禍のため減少していたが、社会経済活動の回復に伴い、事業活動が再開したことにより微増傾向
- ・他の政令市と比べると本市の事業系所床面積当たりの事業系ごみ量(11.9 kg/m<sup>2</sup>)は最も多く、更なる減量リサイクル対策が必要

4



## 計画目標の項目：リサイクル率（一般廃棄物）

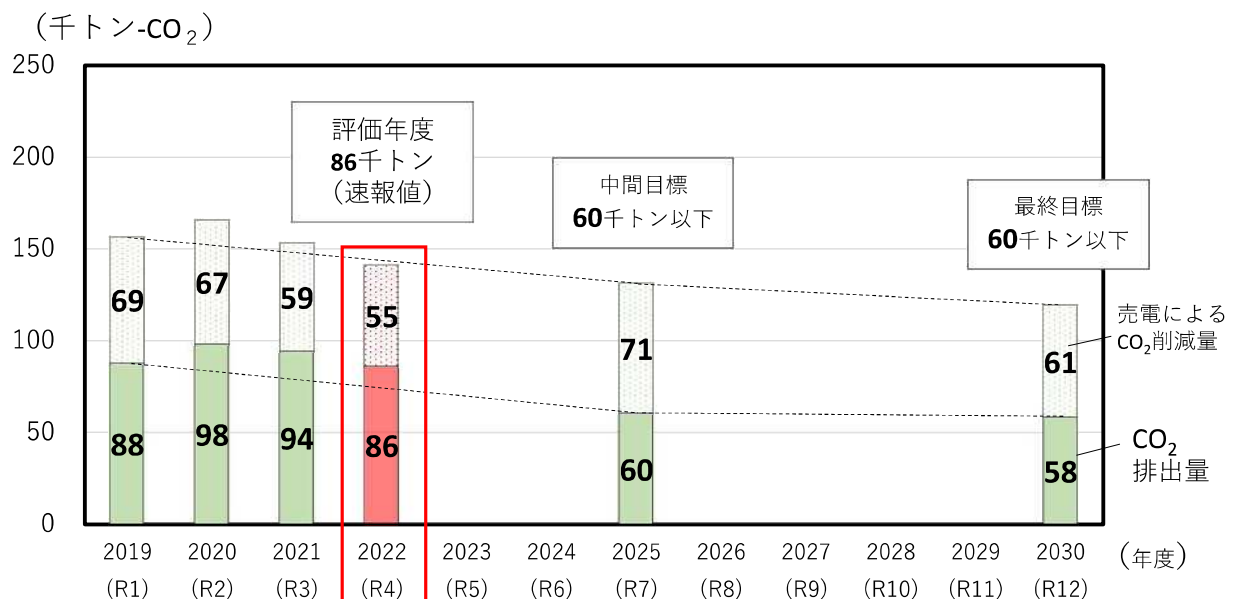


- ・古紙の回収量自体が約10%減少する等、資源化物の回収量が減っている
- ・紙の流通量の減少や飲料容器の軽量化等の影響により、全体的に資源化物の回収量が減少し、近年のリサイクル率は低下傾向
- ・プラスチック資源一括回収等の施策により、リサイクル率の向上を図る

5



## 計画目標の項目：一般廃棄物処理に伴い発生するCO<sub>2</sub>排出量



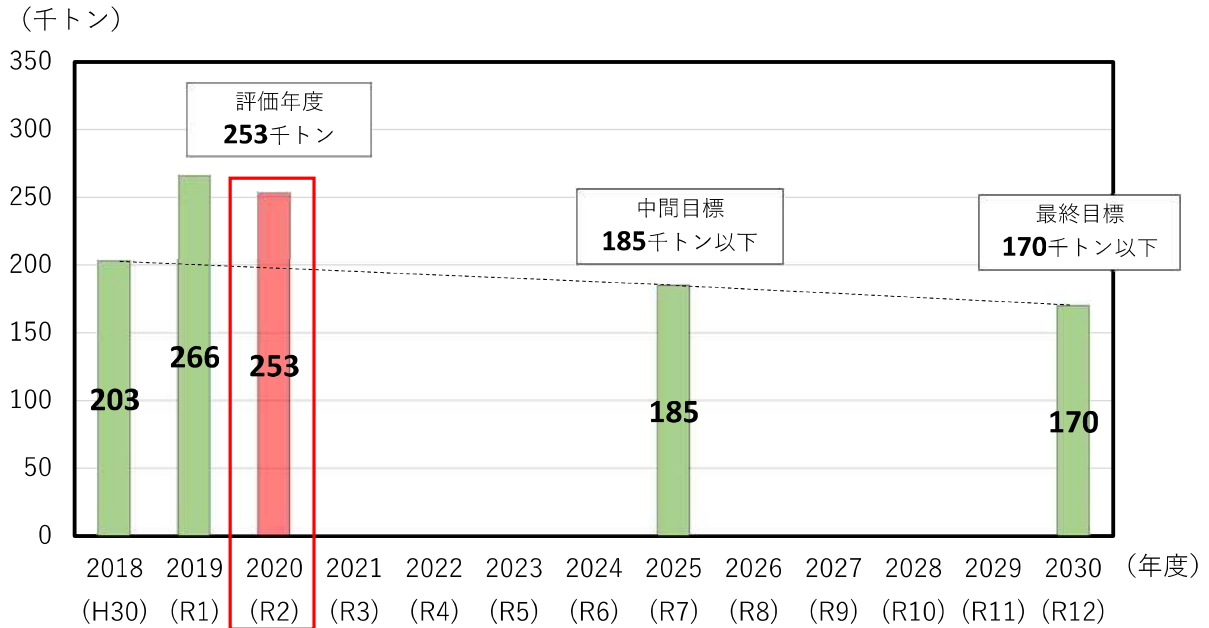
※ CO<sub>2</sub>排出量は、一般廃棄物の処理で発生したCO<sub>2</sub>量から、焼却工場で発電し、売電することで削減したCO<sub>2</sub>量を差し引いて算出

- ・ごみの焼却量の減少に伴い、CO<sub>2</sub>の排出量が減少
- ・今後は、新日明工場稼働や新門司工場の基幹改良による、更なるCO<sub>2</sub>の排出量削減を図る

6



## 計画目標の項目：産業廃棄物の最終処分量



- ・令和元年度は新規の火力発電所が稼働し、新たな埋立廃棄物が発生したこと等の要因から基準年度より増加
- ・公共処分場では、新処分場の工期延長に伴い現処分場の延命化を図るため、令和6年度以降、受入制限を実施
- ・受入制限により、より一層のリサイクルの推進等が見込まれるため、本計画の中間見直し（令和7年度）において目標のあり方の再検討が必要

7



## 各施策の取組状況と今後の展望

### (1) 3Rの推進による最適な「地域循環共生圏」の構築



#### 1 プラスチックごみ対策

- ・家庭から排出されるプラスチック資源一括回収に向けた実証事業を実施
- ・併せて、火災の原因となる充電式電池等の回収拠点の拡大を検討

#### 2 食品ロスの削減

- ・市内のフードドライブの後援や開催情報を市ホームページで広報
- ・食べきりBOX「ドギーバック」を作成し、市内の希望する飲食店舗へ配布

#### 【今後の展望】

##### 家庭ごみ減量化とリサイクル率向上のための取り組みを実施

- ・令和5年10月開始の製品プラスチック資源の一括回収等により、増加を図る
- ・市民団体等と連携したフードドライブ活動の普及を図る

##### 事業系ごみ対策の強化

- ・不適正搬入対策やリサイクルの促進など事業系ごみ削減に努める

8



## 各施策の取組状況と今後の展望

### (2) 循環型社会形成に向けた 地域全体の市民環境力の更なる発展



#### 1 市民に対する環境教育の推進

- ・環境イベント「エコライフステージ」を3年ぶりに対面開催し、参加者一人ひとりの環境行動を実践した(参加者数:128,000人(オンラインイベント含む))

#### 2 地域コミュニティやNPOの環境活動の推進

- ・道路、河川等の清掃活動の実践や地域の公園やごみステーションの美化に貢献しているなど、美しいまちづくりに顕著な成果をあげている個人・団体に対し、感謝状を贈呈

#### 【今後の展望】

##### 環境を意識したライフスタイルの見直し

- ・プラスチック資源一括回収に伴い、分別の意義やごみ処理の状況等について市政だよりやホームページ、SNS等、様々な媒体を活用して、市民に分かりやすい情報発信をしていく

9



## 各施策の取組状況と今後の展望

### (3) 脱炭素社会・自然共生社会への貢献



#### 1 プラスチックの焼却量の削減

- ・プラスチック資源一括回収の実証事業実施

#### 2 再エネ導入・省エネ促進

- ・中小企業を対象とした太陽光発電や高効率省エネ設備等の導入費用の一部助成を通じて、市内企業における再エネ導入・省エネを促進
- ・市の率先実行として、令和7年度までの公共施設(約2,000施設)再エネ100%電力化に向けて、再エネ電力へ順次切り替えを推進
- ・令和4年に国から脱炭素先行地域の選定を受け、公共施設を対象として第三者所有方式による太陽光発電設備等の導入を推進

#### 【今後の展望】

##### 第三者所有方式を活用した太陽光発電設備等の導入

- ・令和5年度から民間企業を対象に、第三者所有方式による太陽光発電設備等の導入に係る補助事業を新たに創設

10



## (4) 「地消・地循環」を目指した環境産業の創出と環境国際協力・ビジネスの推進



### 1 環境産業の創出

- ・エコタウン企業が行う太陽光パネルや炭素繊維強化プラスチックのリサイクルに関する支援の実施

### 2 国際協力・ビジネスの推進

- ・アジアカーボンニュートラルセンターを中心に、アジア諸都市とのネットワークや環境省、JICA等の資金を活用しながら、市内企業の海外ビジネス展開を行い、18の国と地域、89都市において270件のプロジェクトを実施。

### 【今後の展望】

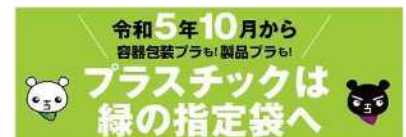
- ・「蓄電池のリユース・リサイクルシステムの構築」等、北九州エコタウンに新たな産業を創出する
- ・海外ビジネス支援強化や国際協力事業を推進することにより、環境国際ビジネスの拠点形成を目指す

11



## 【参考】プラスチック資源一括回収事業について

### 令和5年10月から「プラスチック資源一括回収事業」を開始



### 1 内 容

市民は週に1回、緑色の指定袋で地域の資源化物ステーションに排出  
 ※収集曜日・指定袋に変更なし

### 2 収集対象

- ① 容器包装プラスチック
- ② 製品プラスチックのうち、次の要件を満たすもの。  
 ア プラスチックだけでできているもの  
 イ 1辺の長さが50cm未満のもので指定袋に入る大きさのもの



(排出状況)

### 3 収集量(速報)

| 期間      | 収集量   | 前年収集量 | 前年度比   |
|---------|-------|-------|--------|
| 令和5年10月 | 662トン | 621トン | 約6.6%増 |

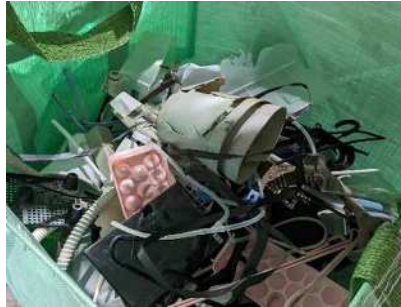
12





## 【参考】プラスチック資源一括回収事業について

### 1 排出された製品プラスチック



#### 【具体例】

- ・ハンガー
- ・植木鉢
- ・バケツ
- ・おもちゃ(プラ製)

### 2 排出された不適物



#### 【具体例】

- ・刃物
- ・乾電池
- ・スプレー缶
- ・小型電子機器

13



## 【参考】プラスチック資源一括回収事業について

### 3 処理施設の稼働状況



① 搬入された指定袋の  
処理ラインへの投入

② 処理ライン  
(ベルトコンベア・手選別)



③ 圧縮梱包(ボール化)

④ 完成したボール品

14